

令和7年3月18日

災害時、あなたの企業は生き残れますか？ 令和6年能登半島地震におけるものづくり企業の復旧ポイント事例集 及びレジリエンス向上ガイドブックをとりまとめました

中部経済産業局は、令和6年能登半島地震で被災したものづくり企業16社に対し、復旧までのプロセスや組織文化についてヒアリングを実施し、「企業の復旧事例集～令和6年能登半島地震の実例から学ぶ～」及び「まずはここから レジリエンス向上ステップアップガイド」を作成しました。

南海トラフ地震等、今後も頻発化・激甚化する災害に備えるため、多くの地域企業の皆様がレジリエンス向上に向けた取組を実施する際の一助となれば幸いです。

1. 本事例集とりまとめの背景・目的

中部地域では、しばらく大きな災害を経験しておらず、南海トラフ地震の発生確率が高まっている中で、何から始めたらよいのかわからないといった声や、災害・リスク対策に取り組んでいるものの、それらの実効性に疑問を持つ声も聞こえてきています。

こうした中、当局は、令和6年能登半島地震で被災した企業の復旧時の対応についてヒアリングを行い、企業が取り組むべきレジリエンス向上手法を、事例集及びガイドブックとして整理しました。いつ来るか分からない南海トラフ地震に備え、災害発生時の被害を最小限に抑え、事業を継続または速やかに復旧するための一助となれば幸いです。

2. 本事例集・ガイドブックの内容、掲載ページ

「企業の復旧事例集～令和6年能登半島地震の実例から学ぶ～」

本事例集では、被災したものづくり企業がなぜ速やかに復旧できたのかに着目し、その経験や行動をまとめました。（別添：企業の復旧事例集抜粋）

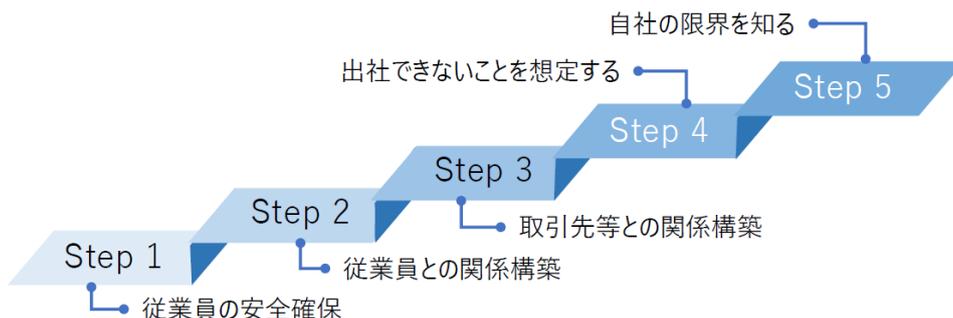
https://www.chubu.meti.go.jp/a21somu/press_2024/20250318/index.html

「まずはここから レジリエンス向上ステップアップガイド」

16社の事例から行動ポイントを抽出し、事業継続または速やかな復旧のポイントとして整理しました。（別添：ステップアップガイド）

被災企業の経験から学ぶ、備えるべき5つのステップ！

本ステップアップガイドでは、令和6年能登半島地震で被災した企業インタビューをもとに、取り組んでおくべき事前対策をまとめました。従来の災害への事前対策の項目にとどまらず、平時の組織のあり方についても触れています。



(お問合せ先)

中部経済産業局 総務課長 浅井

担当：伊野

電話：052-951-2683 (直通)

メール：bz1-bousai_chubu@meti.go.jp

